

未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 12月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校
校長 大久保仁晶
平成30年12月3日発行

110周年記念コンサート

学校へ行こう週間には、計2000人近くの大勢の保護者・地域の方が来校されました。お忙しい中、ありがとうございました。その最終日の22日（木）に110周年記念コンサートが行われました。

音楽会や卒業式でよく歌われる「COSMOS」や「地球星歌」を作り、歌っているアクアマリンの2人をお招きして行いました。午前の部、午後の部と2部制で実施しました。来賓として、学校評議員や自治会長、さらには歴代の校長先生もお見えになりました。

アクアマリンの星空、宇宙、旅、自然などを題材に、生命の大切さや本当の豊かさをテーマにした曲はどれも素晴らしかったです。また、聞くだけではなく、鶴嶺小学校の愛唱歌を全校とともに歌ったり、茅ヶ崎寒川地区音楽会に出場する6年生と「COSMOS」をコラボしたりと大変盛り上がったコンサートとなりました。子どもたちの心の中に、素敵な思い出となったことと思います。

なお、110周年記念の品として、クリアファイルを作成し、配付しました。学区の航空写真や校歌、愛唱歌も入っています。大切に使用していただければと思います。



来賓、地域の皆さんも絶賛していました

平成30年度全国学力学習状況調査

平成30年4月に小学校6年生を対象に実施した、全国学力学習状況調査の本校の結果について分析を行いました。すでに、6年生には授業の中で各自の結果を配付しています。

【国語・算数・理科より】

- ・国語、算数ともA（知識）は、相当数の児童がおおむね理解しているようですが、B（活用）はAに比べ、正答の割合が低くなっています。また、Bでは無解答の率が高くなっています。
- ・理科は、ろ過の操作方法や堆積作用について、相当数の児童が理解できている一方、記述式の問題の正答の割合が低くなっています。

【児童質問紙より】

- プラスの方向に特徴
- ・朝食を毎日食べている
 - ・地域の大人（習い事の先生を除く）と勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりしている
- マイナスの方向に特徴
- ・学校の時間以外に勉強や読書をする
 - ・算数、理科の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える

調査で計れるのは、学力の一部ですが、本校の児童の学習・生活の実態をもとに、今後の授業づくりや生活指導につなげてまいります。